岩手県立大野高等学校

ＰＴＡ会報

大野高校ＰＴＡ事務局／岩手県九戸郡洋野町大野58-12-55　ＴＥＬ（0194）77−2125

里★山★整★備

毎年６月に全校で行う里山整備。里山でのマツタケ収穫を通し、自然の大切さを学びます。そして、生徒の活動が円滑に進むようにと、ＰＴＡが里山の事前整備を行っています。

ＰＴＡ活動の様子

令和２年度の文化祭では感染症対策に留意しながら、わたあめと豚汁の提供を行いました。生徒たちにもとても好評で、文化祭を盛り上げられた活動の一つとなりました。

忍耐力の向上を

ＰＴＡ会長　太内田　賢

昨年度副会長から、本年度PTA会長を思いもよらず務めることとなりました。未熟な私ではありますが、PTA会長として尽力しますので、教職員、保護者の皆様のご協力を宜しくお願い致します。

さて、大野高校は本年度26名の新入生を迎え、新型コロナウイルス感染症にまだまだ油断できない中でのスタートとなりました。そんな中にあっても、高総体に始まり進路講演会、体育祭など感染症対策に努めながら学校行事に取り組んで頂き、教職員の皆様には大変感謝しています。

最近では変異株の感染も拡がりを見せ、日に日に感染者は増えています。８月12日には岩手県も緊急事態宣言を発令。私たちの生活圏では感染は少ないものの、県単位で見れば感染者は増加傾向にあり、一人一人の意識を新たに、より一層の危機管理が必要だと思われます。

「皆自粛してないし」

と言うような多数決に流されず、自分の意志を持ち、我慢する力をつけましょう。きっとそれが長い人生においても強力な武器となることでしょう。

旧五千円札で知られる新渡戸稲造の言葉にこのような言葉があります。

「強き人はよく耐える。よく耐える人を強者という」

耐えるとは苦しいこと、辛いこと。欲をコントロールし我慢すること。今の状勢に一番必要な力ではないでしょうか？また、子供たちにも強く成長してもらいたいと思います。

終わりに、三学年は進路活動に、一・二学年も勉学と部活動に毎日疲れているかと思われます。よく食べよく眠ることも大事です。保護者の皆様も健康に気を付け、子供たちのサポートをお願いするとともに、今後ともPTA活動へのご理解、ご協力を宜しくお願い致します。

今年度上半期を振り返って

校　長　北　田　義　徳

今年度から大野高校にお世話になっております、校長の北田義徳です。どうぞよろしくお願いいたします。

保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動に対し、ご理解とご協力をいただいておりますことに、心より感謝申し上げます。

さて、コロナ禍の中での教育活動も２年目となりました。全国的、全県的には第５波が収束し、緊急事態宣言は９月30日に解除されました。また、本県では「岩手緊急事態宣言」が８月12日から９月16日まで発令されました。そのような中、本校では８月30、31日の両日、臨時休業の措置をとりました。保護者をはじめ、関係の皆様には、ご心配、ご迷惑をおかけしたことにつきまして、誌面をお借りしてお詫び申し上げます。

さて、今年度の上半期を振り返りますと、まず入学式は４月８日に挙行し、来賓として洋野町長様、PTA会長様、同窓会長様ご臨席の下、26名の新入生を迎えました。

PTA総会は５月８日に、２年ぶりの集合開催となりましたが、総会の出席者数は11名、出席率は15.9％と、一昨年度（21名、23.6％）を下回る結果でしたので、原因を分析し、出席率が向上する開催の在り方を研究してまいります。

これも２年ぶりとなる県高校総体は５月20日より県内各地で開催され、卓球部が女子個人戦で東北大会出場権を獲得しましたが、同大会は残念ながら中止となりました。それ以外の部もすべて２回戦に進出し、３年生は完全燃焼しました。

体育祭は６月17・18日の２日間行い、生徒、職員ともフェアプレーで心地よい汗を流しました。

里山整備事業は天候が心配されましたが、６月29日に無事行いました。また、９月30日の収穫祭では、５本の松茸が採れました。

今後の予定として、文化祭は10月15日と16日に「同居家族に限り公開」という条件付きで開催させていただきます。

また、11月27日から12月１日の期間、関西方面で実施を予定しておりました２学年修学旅行は、残念ながら中止することとしました。なお、詳細は未定ですが、日帰りの遠足等が実施できないかどうか、今後検討します。

結びに、本校が安心・安全に活動できる学びの場となるよう今後とも努力する所存ですので、保護者の皆様におかれましては、なお一層のご理解、ご協力をお願いいたします。

（令和３年９月28日記す）

2021 体育祭

6月17日(木)・18日(金)

SNAP PHOTO

これからの行事

10月15日(金)・16日(土)	大野高祭
10月22日(金)	芸術鑑賞
11月４日(木)～９日(火)	後期中間考査
12月14日(火)～16日(木)	三者面談
12月24日(金)	冬季終業式
１月11日(火)	冬季始業式

大野高校職員紹介

（学年／教科／部顧問）

管理職

北田義徳　校長
三森　健　副校長
坂本奈都子　事務長

１学年団

畠山拓矢　１年担／理科／野球
角掛裕喜　１年副／音楽／吹奏楽・サッカー
内間研治　１年付／数学／ソフトテニス
佐藤麻美　１年付／養護教諭／ソフトテニス

３学年団

泉田貞子　３年担／地歴公民／総合文化・吹奏楽
伊藤誠章　３年副／国語／野球
黒澤久孝　３年付／数学／バスケットボール・総合文化
田村亜希子　３年付／英語／バレーボール

２学年団

庄司晃子　２年担／国語／バレーボール
坂本貴大　２年副／理科／卓球
屋形場哲也　２年付／英語／サッカー・卓球
今野和倫　２年付／保健体育／バスケットボール

事　務

稲森里美　主　事
奥　肇宏　ボイラー技士兼学校技術員

PTA会員の声

奥寺由江（２Ａ星華）

今年度、PTA広報委員となり学校行事や子供達の生活、学校の雰囲気を感じることができました。自然に恵まれ、地域の方々が子供達を見守ってくれ、とても良い環境だと改めて思いました。

子供達の学校生活が充実したものになるようサポートしていけたらと思います。

木村マスミ（２Ａ遙斗）

昨年の４月に入学し、勉強に部活動と初めての経験が多く、大変そうにしていましたが、高校生活にも慣れ楽しく過ごしているようで安心しています。部活動では少ない人数での活動ですが、他校の生徒さんや先生方との交流ができ、良い経験ができていると思います。今年もコロナの影響でさまざまな事が思い通りにできない状況です。そのなかでも、今しかできない事、今やらなきゃいけない事があると思いますので、悔いの残らない学生生活を送ってもらいたいです。

編集後記

前期広報委員長　於本由希子（３Ａ鈴音）

26名の新入生を迎えスタートした新年度も、折り返し地点を過ぎました。一度は落ち着いたかに見えたコロナウイルスの猛威も依然としてとどまらず、生活や各種の活動の制限など不自由な毎日をお過ごしの事と思います。そのような環境の中でも、高総体の地区予選や体育祭など、できる事に精一杯取り組んでいる生徒を見てたくましさを感じています。野球部の県大会での歴史的一勝をはじめ、卓球女子の東北大会出場などの部活動での活躍や学校行事への取り組み等、限られた環境の中で精一杯頑張る生徒たちを引き続き見守り、応援して行ければと思っています。PTAの皆様の日頃のご協力に感謝すると共に、引き続いてのご理解とご協力をお願い致します。先の見えない不安定な状況ではありますが、少しでも早く状況が上向く事を願っています。